

令和4年度 家庭科「家庭総合」シラバス

| | | | |
|-----|---------------|----------|--------------------------|
| 単位数 | 2 単位 | 学科・学年・学級 | 普通科 3年 1 2 3 4 5 6 7 8 組 |
| 教科書 | 家庭総合 自立・共生・創造 | 副教材等 | |

1 学習の到達目標

- ・人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかかわりについての理解を深める。
- ・衣食住に関わる生活に必要な知識と技術を習得し、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する能力と実践的な態度を育てる。

2 学習の計画

| 月 | 単元名 | 学習項目 | 学習内容や学習活動 | 評価の材料等 |
|----|-----------------|-------------------|--|-----------------|
| 4 | 第6章 食生活を作る | 1. 食生活について考える | ・日常の食生活を振り返り、食事の意義を確認するとともに、自身の食生活の課題を見出す。 | (ワークシート分析) |
| 5 | | 2. 食事と栄養・食品 | ・日常的に用いる食品の栄養的特質や調理上の性質について科学的に理解する。 ・栄養素の種類と働きを知り、健康な心身を育むための食生活について考える。 | (ワークシート分析) |
| 6 | | 3. 食生活の安全と衛生 | ・食品の選択や適切な保存の方法、調理の際の安全に関する必要事項を学ぶ。 ・食生活の衛生と安全について、生産から流通の過程にまで関心を持ち、主体的に安全な食生活を営む力を育む。 | (ワークシート分析) |
| 7 | | 4. 生涯の健康を見通した食事計画 | ・青年期の食事の重要性を理解し、各ライフステージの栄養的特徴を知る。 ・食事摂取基準を理解し、各ライフステージに適した献立作成及び食事計画を学ぶ。 | (行動観察) |
| | | 5. 調理の基礎 | ・食生活の自立に必要な基本的な調理技術を学び、日常食を作れるようになる。 | (行動観察) |
| 9 | | 6. 食生活と文化 | ・日本や地域の食文化を見直し、食文化を主体的に継承できるようになる。 | (ワークシート分析・行動観察) |
| | | 7. これからの食生活 | ・食生活の変化や問題点を知り、環境や食料自給率の問題を考える。 ・生涯を通じて、健康で安全な食生活が営めるようになる。 | (ワークシート分析) |
| 9 | 第2章 子どもと共に育つ | 1. 命を育む | ・出産前後の健康管理と胎児への影響を知り、個人の尊厳と命に対する責任を学ぶ。 | (ワークシート分析) |
| | | 2. 子どもの育つ力を知る | ・新生児期から乳幼児期までの心身の発達と課題を知る。 | (ワークシート分析) |
| 10 | | 3. 親として共に育つ | ・、基本的な生活習慣の形成及び、遊びを通じての社会的な生活習慣を理解し、適切な保育を行えるようにする。 ・夫婦が協力して子どもを育てることの意義を知る。 | (ワークシート分析・行動観察) |
| | | 4. 子どもとの触れ合いから学ぶ | ・子どもとのふれあいを通して、愛着の形成と親としての成長を理解する。 ・さまざまな児童文化財を知り、その意義と活用の仕方を学ぶ。 | (ワークシート分析) |

| | | | | |
|----|----------------|--|--|---|
| 11 | | 5. これからの保育環境 | <ul style="list-style-type: none"> 子どもを取り巻く社会変化の現状について理解し、考える。 児童福祉の理念を理解し、子育て支援の現状を学ぶ。 | <p>(行動観察)</p> <p>(ワークシート分析)</p> |
| 12 | | <p>第8章 住生活をつくる</p> <p>1. 住生活について考える</p> <p>2. 住生活の計画と選択</p> <p>3. 住生活の文化</p> | <ul style="list-style-type: none"> 住居の機能を考える。 平面図の基礎知識を得て、間取りが理解できるようになる。 ライフステージに合った住居を考える。 住居を選ぶ際、室内外の環境に着目し、安全性・快適性等を考慮する必要性を学ぶ。 気候風土に応じたさまざまな住様式が存在することを学ぶ。 持続可能な住生活とは何か考える。 | <p>(行動観察)</p> <p>(ワークシート分析)</p> <p>(ワークシート分析)</p> |
| 1 | 第9章 生活を設計する | <p>1. 生涯を見通す</p> <p>ホームプロジェクト</p> | <ul style="list-style-type: none"> 今までの学習を踏まえ、キャリアの視点から生涯の生活設計に必要な要素をまとめる。 これまでの学習を踏まえて、自分の目指すライフスタイルを考え、高校卒業後の生活設計を立てる。 実生活の中から問題点を見出し、これまで学んだ知識・技術を生かしてそれを解決するための実践を行う。 | <p>(ワークシート分析・行動観察)</p> <p>(ワークシート分析)</p> |

1、2学期は、食物分野と保育分野を相互乗り入れしながら進める。

3 評価の観点

| | |
|----------|---|
| 関心・意欲・態度 | 人の一生と家族・家庭,子どもや高齢者との関わりと福祉,消費生活,衣食住などについて関心を持ち,その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに,実践的な態度を身に付けている。 |
| 思考・判断・表現 | 人の一生と家族・家庭,子どもや高齢者との関わりと福祉,消費生活,衣食住などについて生活の充実向上を図るための課題を見だし,その解決をめざして思考を深め,適切に判断し,工夫し創造する能力を身につけている。 |
| 技能 | 人の一生と家族・家庭,子どもや高齢者との関わりと福祉,消費生活,衣食住などに関する技術を身につけている。 |
| 知識・理解 | 人の一生と家族・家庭,子どもや高齢者との関わりと福祉,消費生活衣食住などに関する知識を総合的に身につけている。 |

4 評価の方法

| |
|---|
| 「関心・意欲・態度」,「思考・判断・表現」,「技能」,「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価する。 |
|---|

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 時間厳守。(3分前着席、提出物) ● 忘れ物をしない。特に調理実習。 ● 貴重品に自己管理徹底。 ● 周りとは協力して、実習は進めていく。 ● その他、オリエンテーションでお話します。 |
|--|